心から楽しく笑つて学ぶべき点が多い

映画「秋日和」を語る

▼広報に新らしい部門をひらくために映画の鑑賞を企画してみました。まず手始めに評判であつた「秋日和」を取り上げ、見ていたゞいたわけですが、総体的にどのように感じられましたか。

○非常に心が暖たまる後味のよい映画だつた。巻末の母の哀れさというところも自然的にでていてよかつたと思います。

○清潔な流れが全編にみち溢れて、心がすがすがしくなつてくる。母親（原節子）が夫の面影に生きてゆくところなど共感しますネ。

○始めからしまいまでたのしい笑いが心をゆさぶりそれでいて心をうつものがありますネ。

○登場人物のそれぞれの年令が対象的によく画かれているのも、やはり適役を得たといえましよか……。

▼二十四才の娘が、母の再婚に対し娘（司葉子）のようにあれほど不潔なものと考えていないではないでしようか。

○個人的な性格のあらわれにもよりましよう。しかし、娘のように極端な辟さはなく、むしろ寿司屋の娘（岡田マリ子）のように割り切つた考えではないですか。結婚すれば別居して二人だけの生活をするというような考えが現在の若い人達の考え方ではないですかネ。

○実社会にも母娘二人の生活は多いが、母娘二人という生活にはなんらかの淋しさがあるものですネ。母をあたゝまる男の友情の方がより多く流れていると思はれましたが……。

○男同志の本当にこせつかない愛情がつきあいの至る所にじみでていて会話そのものにもあたゝか味といや味のないしやれ気が溢ふれていてたのしくみられました。

○中年の男同志のつき合は以上だと思われますよ。母娘のアパート暮しにしてもゆとりのある生活をしているのではないでしようか。

○三人の男友達が学生時代からのあこがれの女性を中心にして、とぼけた友情とおかしみがいたる所に出ていて、それぞれ他人に渡したくい気持など、平山（北龍二）との再婚問題などよう談から始まつたにしろ心から世話をしようとしない。心理的な過程はうまく出ていますよ。

▼平山が、二人の友達や、寿司屋の娘にいじ悪るくおもちやにされましたが、だまされやすい学者肌をよく出していますネ。

○結末の結婚式でのあきらめたようなあきらめ切れないような平山の表情などなんとなく気の毒になる程ですね。

○たゞ自分の再婚話になると「ちよと便所へ」というのはいさゝか落としすぎではないでしようか。

▼母親がカツトごとに着物を替えて出てきましたが、中年の女性の美しさをだすことは感じがよいことだと思いますネ。

○母もかく美しくありたいということではないでしようか、年をとればとる程みぎれいにすることはよいことですネ。

○母と娘が月に一回でも二月に一回でも、せめて三月に一回ぐらいこうしてたのしく、外でおいしいものを食べたいという場面など自然的であるし実際私達の生活にも取り入れてゆかねばならないと思いますしたネ。

○そこもありますが、全編を通じてこゝがやまばというところがないのですけれど、しいていえば母娘が旅行し、友達のようになつて話し合て母の再婚も理解し自分の結婚も決心するあたりがこの映画の中心でないでしようか。

一家そろつて旅行することなど、遊びを通じて愛情を深めてゆくもので、家庭生活というものゝあり方をうたつたものではないでしよう か。

○暴力映画などは少なくしてもらいたいものです。人間の落着をとりもどすためにも……。

○映画館を出たとたん秋日和の空をみて思つたのですが、母娘の愛情、二人をとりまく男友達のスカツとした友情は秋日和のように清く明るく、そして深く澄んでいる善意であつて、本当に秋日和という題名にピツタリあてはまつていますネ。是非もう一度みてみたいと思つています。

▼本当にみたものの心を浄化するよい映画でしたネ。まだいろいろお話しがあると思いますがこの辺で……。

語る人（順不同）

山本　春子
山本　起代
山本　和
土橋　房江
中村　美恵

シベリヤの正月

十市　夫

ブラゴエ地区第八ラーゲルシベリヤ鉄道沿線の一番北へ偏れた地点にその収容所はあつた。

一九四八年第三回目の元旦を迎えた。眼がさめるとまずトイレ夜来四回目だが、この生理的現象は一分の猶余もゆるさない切迫したものである。

尿意の頻繁なのは極寒のせいよりはかゆとスープをすすつていることに原因がある。

入ソ以来三年して食糧事情は好転したといつても、満腹感はかつて味わつたことがなく無側限に得られる水分の過剰摂取によらなければならない状態であつた。

屋外へ出ると冬将軍がすつぽりと私を包む。痩せた白樺の枝に綿くずで粧いを凝らしたようにみごとな氷の花が咲いているのを、淡い雪明かりに見た。

風のない極端に気温の下つた日に起こるが、これは空気中の水蒸気が凍り雪の幾百分の一かの小さな結晶が大気の中で煌りのようにたゆたいながら、花を咲かせるのである。

気温は氷点下五十度にも下つているにちがいない。

けれども、けさは気持が軽るい。柚所である私達も今日だけは元旦の恩恵に浴することができる。

一日中作業のないことは天国の窓が開けたも同じことである。

入ソ当時、これほどにも苛酷な気候での生活を夢想だにしていなかつたし、こんな環境での露天作業などとても耐得られえようとは考えていなかつた。

だが、現実には足掛四年目の年がすでに明けようとしている。

（未完）

編集後記

▽一月号は、みなさんの許に早やくとゞけるようにしたいと考えたものゝ思うようにゆかないのが世の中のつね、新年のあいさつが、相当遅れましたことを協力して下さつた方々に深謝します。

△どしどし原稿を寄せていたゞきより充実した広報になるよう協力して下さい。

新春を寿ぎ、本年も広報の発展に尽力します

広報委員会　山本尚一、土居大興、三谷勇亀、藤本茂樹、山本知一、田中隆夫、東村達夫、沢本英世

ポクちん

新年謹賀

南国市役所

電話（南国）代四五一

市長　西村　盛之
助役　小笠原豊暢
収入役　川添　豊
総務課長　竹内　英喜
市民課長　門田　真一
税務課長　高田　修穂
産経課長　村山　忠夫
建設課長　吉本太志男
福祉事務所長　土居　彦馬
教育委員長　西村　信久
同代理　岩村　元治
委員　甲藤　紘
教育長　岡藤　蔵
総務課長　都築　林
学校教育課長　山島　豊憲
社会教育課長　山本　知一
選挙管理委員会委員長　西村　勝
同代理　広井　幸喜
委員　森田　良幸
同　北村　源治
事務局長　本田　幸男
農業委員会会長　金堂　久喜
同代理　中沢　浪治
事務局長　中沢　千里

南国市議会

電話（南国）代四五一

議長　野口　幸重
副議長　井上　満吉
議員　永田　良水
同　北岡　博
同　山下熊太郎
同　浜田　善治
同　吉村　雅男
同　橋田　信夫
同　高木　正延
同　吉本　豊
同　井上　可澄
同　北村　広喜
同　溝渕　亀吾
同　久米　徳幸
同　小川　良水
同　川田　鉄次
同　吉川　清司
同　島内　稲喜
同　福川　藤茂
同　松木　二郎
同　徳永　安雄
同　岩原　隆雄
同　平田　良水
同　村上　茂尚
同　浜田　勇
同　橋本一二三
同　沢村　武一
同　土居　熊治
同　中田　清茂
事務局長　山本　義幸

十市農業協同組合　組合長　北村　謙一
岡豊農業協同組合　組合長　横矢　健一
稲生農業協同組合　組合長　浜田　多国
三和農業協同組合　組合長　八松儀之助
前浜農業協同組合　組合長　浜田幸一郎
日章農業協同組合　組合長　池川　滋寿
大篠農業協同組合　組合長　松木　伝三
野田農業協同組合　組合長　朝田　盛
長岡農業協同組合　組合長　関田　藤吉
国府農業協同組合　組合長　島井　武義
久礼田農業協同組合　組合長　鍋島　藤吉
上倉農業協同組合　組合長　武内　卓見
瓶岩農業協同組合　組合長　岡本　卓一